

【総合的な学習の時間】 第4回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 問いの立て方

2. 本時の概要

本時は、探究活動の起点となる「問いの立て方」と、効果的な情報収集のための「ブラウジング」を扱う。探究は対象に対して「興味・関心」を持ち、疑問を抱くことから始まる。しかし、質の高い問いを立てるためには、単に思いつくのを待つのではなく、ルールに基づき大量の問いを出し、それを整理・分類するプロセスが必要である。

本時ではグループワークを通じて、互いの視点を活かしながら「問いづくり」の作法を学ぶ。また、今後の文献調査において不可欠なスキルである「ブラウジング」についても学習する。スキミングやスキニングといった技法を使い分けることで、膨大な資料の中から自身の問いに対する答えや新たな気づきを効率的に見出すための基礎的な技能を習得する。

これらの活動を通して、身近な情報から主体的に問いを立て、必要な情報を収集・整理する力を養うため、本時を設定した。

3. 本時の目標

- 問いを立てるプロセスの理解と実践: 問いづくりの4つのルール(質より量を出す、中断・評価しない、一字一句そのまま書く、疑問文にする)を理解し、グループで協力して多様な問いを生み出すことができる。
- 問いの整理と優先順位の決定: 立てた問いを「開いた問い・閉じた問い」などの視点で分類し、その中から探究において重要と思われる問いを理由とともに選定し、発表できる。
- 効果的な読書技術(ブラウジング等)の習得: 資料をパラパラと読むブラウジングや、必要な情報に素早くアクセスするスキミング、スキニングの手法を理解し、持参した書籍で実践して新たな疑問を見出すことができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第4回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 参考文献:

- ダン・ロスタイン著、ルース・サンタナ著、吉田新一郎訳(2015)『たった一つを変えるだけ クラスも教師も自立する「質問づくり」』新評論
- ポケモン初心者もハマる「ぽこポケ」 バトルなし、かわいさ前面に.日本経済新聞. 2026-5-1, 日経電子版.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF205R10Q6A420C2000000/> アクセス年月日2026年5月6日
- 小泉令三・山田洋平(2011)『子どもの人間関係能力を育てるSEL-8S② 社会性と情動の学習(SEL-8S)の進め方 小学校編』ミネルヴァ書房
- 登本洋子・伊藤史織・後藤芳文(2023)『改訂版 学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』玉川大学出版部

● 生徒用配布プリント:

- 第4回探究シート
- 問いづくりシート

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の内容説明 本時のメニュー((1)問いを立てよう、(2)ブラウジングについて)を確認する。	短縮授業のため、テンポよく進行する。
3分	② 問いを立てる意義の説明 探究は「疑問を持つ」ことから始まり、それは対象への興味・関心の表れであることを理解する。	グループ(4人1組)を速やかに作り、シートを配布する。
5分	③ 問いづくりのルール説明 4つのルール(量、評価の禁止、そのまま記述、疑問文の形式)について説明を聞く。	「安心して問いを出せる環境」の重要性を伝え、心理的ハードルを下げる。
15分	④ 問いを出すワーク 指定されたテーマに対し、書記を決めてルールに従い大量に問いを書き出す。	途中で評価したり答えたりせず、とにかく数を出すよう机間巡視で促す。
5分	⑤ 問いの分類に関する学習 動画を視聴し、問いを分類する方法(開いた問い・閉じた問い等)を理解する。	課題研究メソッドZEROの動画を活用し、視覚的に理解を深める。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
10分	⑥ 問いの分類・優先順位決定ワーク 出した問いを分類し、グループで重要だと思うベスト3の問いを理由とともに決定する。	なぜその問いが重要なのか、話し合いを深めさせる。
【2時限目】		
16分	⑦ 問いベスト3の発表と共有 代表グループが問いを発表し、他の生徒は「梅のかさ」を意識してメモを取りながら聞く。	時間が限られている場合は、教員が指名して発表させる。
5分	⑧ 振り返り記入 第4回探究シートの振り返り欄に本時の学びを記入する。	自身の考えの変化や気づきを言語化させる。
5分	⑨ ブラウジングの説明 興味あるテーマの周辺知識を得るための「ブラウジング」や「スキミング」「スキヤニング」の技法を学ぶ。	資料を効率的に判断するための4つの項目について紹介する。
14分	⑩ ブラウジングの実践ワーク 持参した本を用いてブラウジングを行い、驚きや疑問を感じたことを箇条書きでまとめる。	問いを立てる技法も活用しながら、新たな疑問を抽出するよう支援する。
5分	⑪ 連絡・回収 次回の持参物(書籍)を確認し、探究シートと問いづくりシートを提出する。	シート類はスキャン後返却するため、丁寧に扱うよう指示する。